

# 第 I 章 富津市の概況と特性



# 第1章 富津市の概況と特性

## 第1節 健康に関する概況

表1 市の健康に関する概況

項目	全国		千葉県		富津市					
	人数	割合	人数	割合	人数	割合				
1 人口構成 H22年国勢調査	総人口	128,057,352人	—	6,216,289人	48,073人	—				
	0～14歳	16,803,444人	13.2%	799,646人	13.1%	5,009人	10.4%			
	15～64歳	81,031,800人	63.8%	4,009,060人	65.4%	29,028人	60.5%			
	65歳以上	29,245,685人	23.0%	1,320,120人	21.5%	13,974人	29.1%			
	(再掲)75歳以上	14,072,210人	11.1%	554,260人	9.0%	6,872人	14.3%			
2 死亡の状況 平成22年人口動態調査	死亡原因	死亡原因 (10万対)	年齢調整 死亡率	死亡原因 (10万対)	死亡原因 (10万対)	死亡率 (10万対)	年齢調整 死亡率			
	1位	悪性新生物	279.7	75歳未満 84.3	悪性新生物	241.8	75歳未満 81.8	悪性新生物	353.6	75歳未満 77.1
	2位	心疾患	149.8	虚血性心疾患 男性36.9 女性15.3	心疾患	141.0	虚血性心疾患 男性34.2 女性13.5	心疾患	257.9	虚血性心疾患 男性15.4 女性3.8
	3位	脳血管疾患	97.7	男性49.5 女性26.9	肺炎	80.6	—	肺炎	158.1	—
	4位	肺炎	94.1	—	脳血管疾患	80.3	男性22.2 女性10.1	脳血管疾患	133.1	男性39.1 女性18.3
5位	老衰	35.9	—	老衰	29.6	—	不慮の事故	49.9	—	
その他	7位 自殺	23.4	—	8位 自殺	21.4	—	9位 自殺	25.0	—	
合計	176,549人	14.7%	8,471人	16.9%	79人	79人	12.6%			
3 介護保険 平成22年度介護保険事業 状況報告	男性	119,965人	18.9%	5,723人	20.9%	57人	16.9%			
	女性	56,584人	10.0%	2,748人	12.1%	22人	7.6%			
4 後期高齢者医療 平成22年度後期高齢者医 療事業状況報告	要介護認定者	5,062,234人	—	185,005人	—	2,149人	—			
	1号被保険者の認定	4,907,439人	16.9%	177,669人	13.6%	2,061人	14.8%			
	2号被保険者の認定	154,795人	0.36%	7,336人	0.35%	88人	0.51%			
	1人当たり介護給付費 (第1号1人当たり介護給付:予附給付)	229,006円	—	181,404円	—	204,281円	—			
	介護給付費総額 (第1号の介護給付:予附給付)	6兆6,637億円	—	2,366億円	—	28億円	—			
5 国民健康保険 平成22年度国民健康保険 事業年報	加入者	14,059,915人	—	545,644人	—	6,899人	—			
	1人当たり医療費 医療総額(概算)	904,795円	—	777,734円	—	708,538円	—			
	被保険者数	12兆7,213億円	—	4,243億円	—	48億円	—			
	人数	35,849,071人	—	1,840,440人	—	17,923人	—			
	うち	一般	33,851,629人	94.4%	1,750,980人	95.1%	17,167人	95.8%		
退職	1,997,442人	5.6%	89,460人	4.9%	756人	4.2%				
総人口に対する加入率	28.2%	—	29.9%	—	36.8%	—				
うち65～74歳の加入率	31.1%	—	31.4%	—	32.4%	—				
6 医療費 平成22年度国民健康保険 事業年報	医療費総額 (概算)	10兆7,308億円	—	4,892億円	—	53億円	—			
	1人当たり	299,333円	—	4,584億円	—	295,836円	—			
	一般	9兆9,816億円	—	308億円	—	404,969円	—			
	退職	7,492億円	—	—	—	—	—			
	治療者数	9兆9,816億円	—	—	—	—	—			
7 医療	治療者数	9兆9,816億円	—	—	—	—	—			
	治療者数に占める割合	—	—	—	—	—	—			
	全受療者に占める割合	—	—	—	—	—	—			
	被保険者数に占める割合	—	—	—	—	—	—			
	全受療者に占める割合	—	—	—	—	—	—			
	被保険者数に占める割合	—	—	—	—	—	—			
	治療者数に占める割合	—	—	—	—	—	—			
特定健診	受診者数	7,169,761人	—	402,338人	—	4,722人	—			
	受診率	32.0%	—	35.0%	—	39.5%	—			
	特定保健指導実施者数 実施率	1,988,778人	—	10,153人	—	405人	—			
7 出生 平成22年人口動態調査	出生数	1,071,304人	—	51,633人	—	214人	—			
	出生率	—	—	—	—	—	—			

3 介護保険 平成22年度 介護保険事業状況報告・・・第2号被保険者の認定割合算出に当たり、第2号被保険者数の算出方法

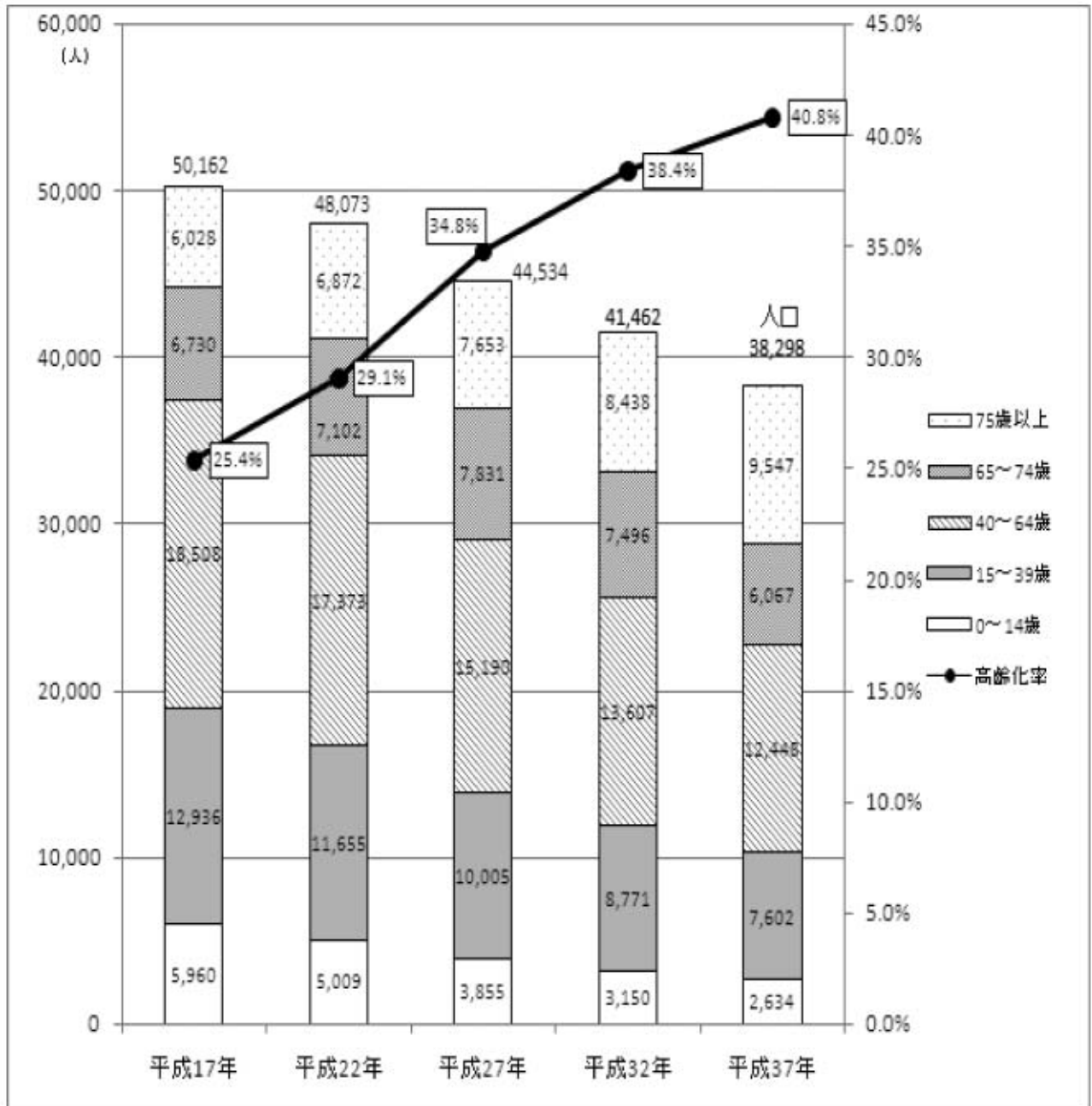
(国・県・市・・・平成22年国勢調査人口 40～64歳人口の合計で算出)

5 医療・・・富津市特定健康診査等実施計画より(平成18年11月診療報酬明細書)

## 1. 人口構成

富津市の人口(国勢調査)は、平成17年50,162人、平成22年48,073人となり減少傾向にあります。人口構成を見ると、年少人口(0歳～14歳)・生産年齢人口(15歳～64歳)ともに総人口に占める割合が減少傾向にあります。また、65歳以上の高齢化率は平成17年25.4%、平成22年29.1%となり、全国(23.0%)や千葉県(21.5%)に比べて高齢化が進んでいます。今後は更に少子高齢化の傾向が強まると予測されます。(図1)

図1 人口の推移と推計(平成20年12月推計)



資料 平成17年、平成22年 国勢調査 資料  
 平成27年、平成32年、平成37年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」  
 (平成20年12月推計)

## 2. 死亡

富津市の主要死因を全国、千葉県と比較すると、生活習慣病としての、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡率が高くなっています。年齢調整死亡率で見ると全国、千葉県より悪性新生物、心疾患は低く、脳血管疾患は、千葉県より高くなっています。(表1) 平成17年と平成22年の主要死因を比較すると、生活習慣病の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は、平成17年57.8%、平成22年57.2%と、全死亡の半数を占めています。(表2)

表2 主要死因の変化

順位	平成17年			平成22年		
	死因	死亡者数	全死亡に占める割合	死因	死亡者数	全死亡に占める割合
1位	悪性新生物	165人	28.5%	悪性新生物	170人	27.2%
2位	心疾患	109人	18.8%	心疾患	124人	19.8%
3位	脳血管疾患	61人	10.5%	肺炎	76人	12.1%
4位	肺炎	59人	10.2%	脳血管疾患	64人	10.2%
5位	不慮の事故	31人	5.4%	不慮の事故	24人	3.8%

\* 死亡率は人口10万対

資料 千葉県衛生統計年報

また、前計画の目的であった早世(65歳未満)死亡の減少については、平成16年との比較では男性で大きく減少しており、全国の中でも低い割合となっています。(表3)

表3 早世(65歳未満)死亡の割合

	男		女	
	平成16年	平成22年	平成16年	平成22年
全国	23.6%	18.9%	13.2%	10.0%
千葉県	27.7%	21.0%	16.2%	12.1%
富津市	21.9%	16.9%	7.5%	7.6%

### 3. 介護保険

平成22年度末、第1号被保険者に占める要介護（要支援）の認定率は14.8%で、千葉県より高くなっています。（図2）第1号被保険者及び第2号被保険者の要介護（要支援）認定者数は、2,149人で年々増加傾向にあり、平成26年度には推計で2,274人と増加が見込まれています。認定者の増加見込みに伴い、給付費も31.3億円から38.3億円へと、約7億円、22.4%の増加が推計されています。（図3）

図2 要介護（要支援）認定者率の推移（年度末現在）

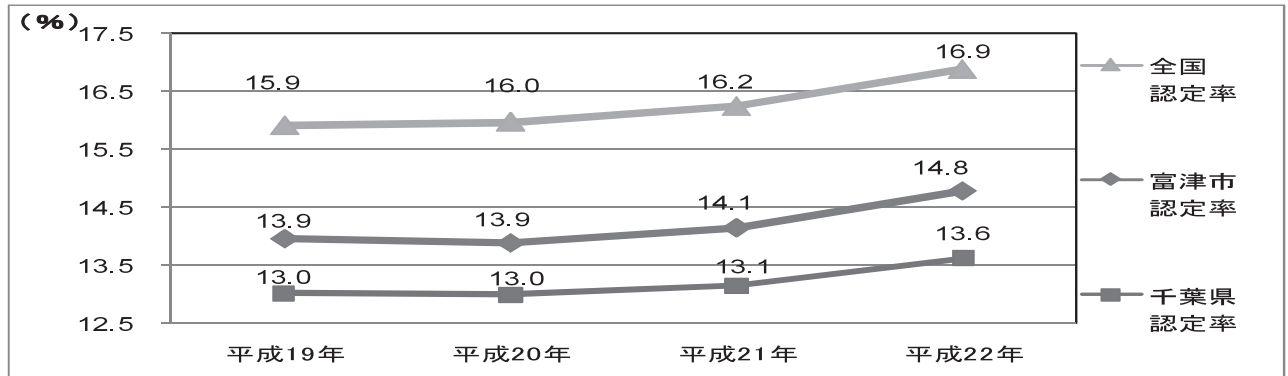
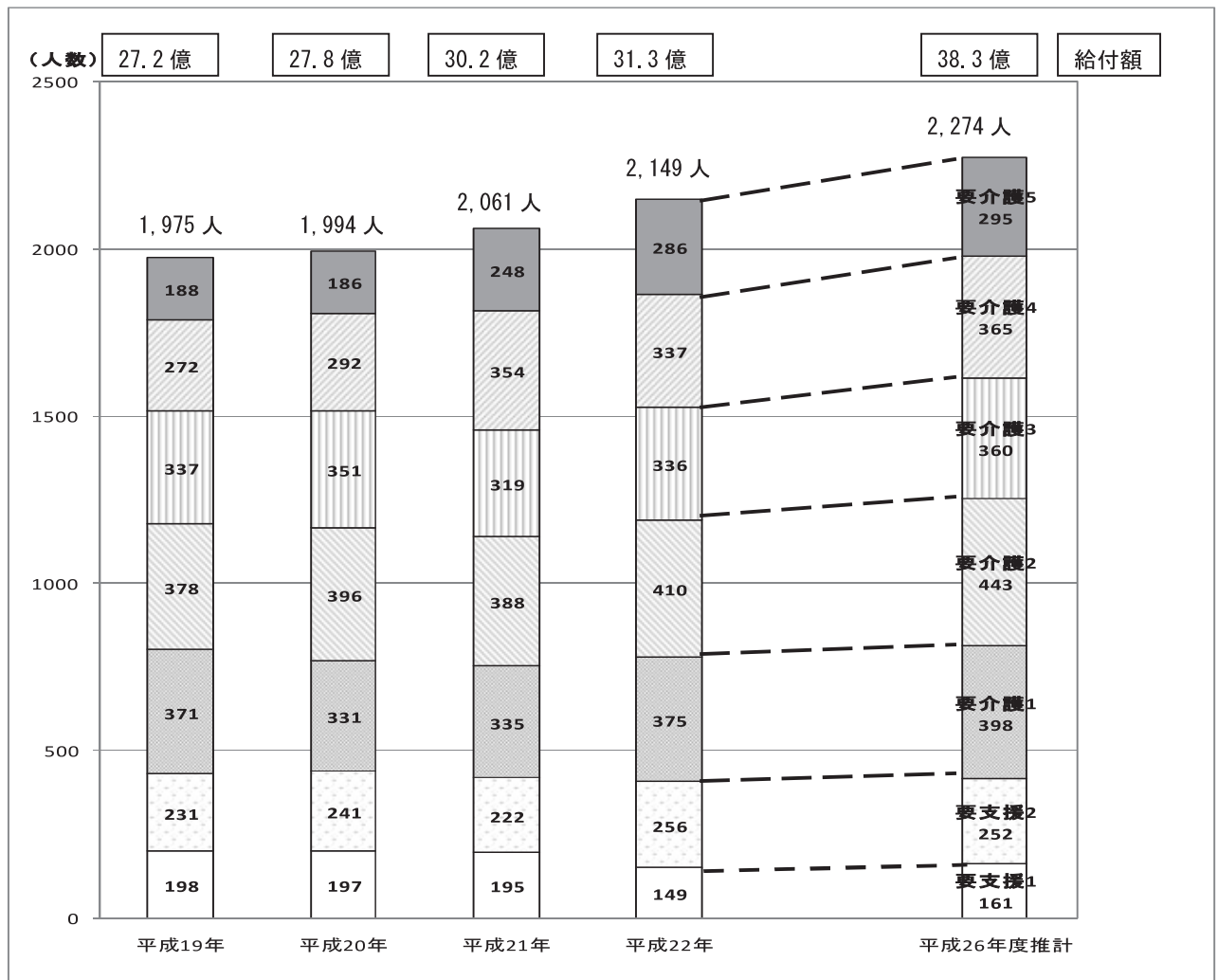


図3 要介護（要支援）認定者数の推移（年度末現在）



資料 厚生労働省 介護保険事業報告 年報  
富津市介護保険事業決算書  
第5次富津市介護保険事業計画

要介護（要支援）認定を受けた人の状況を全国及び千葉県と比較してみると、富津市の重度認定者の割合は、第1号被保険者では全国、千葉県より高く、第2号被保険者では全国、千葉県とほぼ同じです。（表4）

表4 要介護（要支援）度別認定者数（平成22年度末現在）

第1号被保険者

		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	軽度	要介護3	要介護4	要介護5	重度
富津市	認定者数	2,061人	137人	248人	366人	387人	1,138人	326人	327人	270人	923人
	認定割合	100%	6.6%	12.0%	17.8%	18.8%	55.2%	15.8%	15.9%	13.1%	44.8%
千葉県	認定者数	177,669人	20,901人	22,244人	33,173人	32,165人	108,447人	25,634人	23,396人	20,156人	69,186人
	認定割合	100%	11.8%	12.5%	18.7%	18.1%	61.1%	14.4%	13.2%	11.3%	38.9%
全国	認定者数	4,907,439人	651,564人	647,363人	882,474人	8,623,219人	3,043,720人	675,258人	619,202人	569,259人	1,863,719人
	認定割合	100%	13.3%	13.2%	17.9%	17.6%	62.0%	13.8%	12.6%	11.6%	38.0%

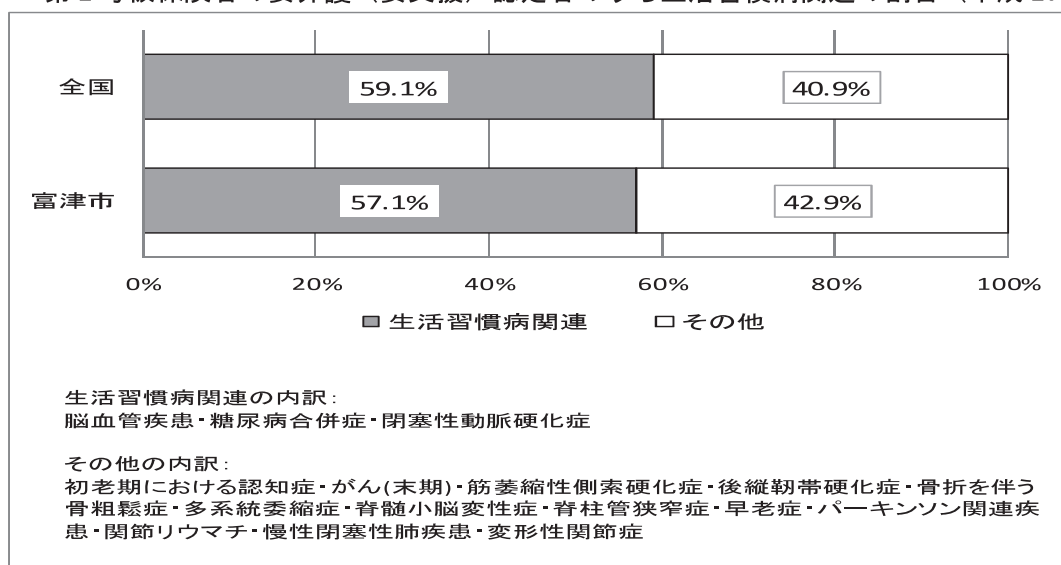
第2号被保険者

		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	軽度	要介護3	要介護4	要介護5	重度
富津市	認定者数	88人	12人	8人	9人	23人	52人	10人	10人	16人	36人
	認定割合	100%	13.6%	9.1%	10.2%	26.1%	59.1%	11.4%	11.4%	18.2%	40.9%
千葉県	認定者数	7,336人	496人	858人	1,200人	1,739人	4,293人	1,096人	864人	1,083人	3,043人
	認定割合	100%	6.8%	11.7%	16.3%	23.7%	58.5%	14.9%	11.8%	14.8%	41.5%
全国	認定者数	154,795人	11,964人	20,632人	24,479人	34,298人	903,733人	226,633人	185,644人	222,255人	634,222人
	認定割合	100%	7.7%	13.3%	15.8%	22.2%	59.0%	14.6%	12.0%	14.4%	41.0%

厚生労働省 介護保険事業報告 年報

第2号被保険者の要介護（要支援）認定を受けた人の原因疾患をみると、生活習慣病関連が原因のものが約6割です。これは全国的に見ても同様です。（図4）

図4 第2号被保険者の要介護（要支援）認定者のうち生活習慣病関連の割合（平成23年度）



資料 平成23年度介護認定審査会資料  
厚生労働省 報告集計2009

生活習慣病関連の中でも脳血管疾患で介護認定申請した人の基礎疾患としては、高血圧や糖尿病が多く、血圧や血糖のコントロールは脳血管を守る上で重要であり、若年からの生活習慣病予防対策を継続していく必要があります。(表5)

表5 第2号被保険者の要介護(要支援)認定者のうち、脳血管疾患で申請した人の基礎疾患

	高血圧	糖尿病	再掲)高血圧+糖尿病	高脂血症	その他
人数	9人	10人	5人	2人	10人
割合	20.9%	23.3%	11.6%	4.7%	23.3%

平成23年度 介護保険認定審査会資料

#### 4. 後期高齢者医療

富津市の後期高齢者(75歳以上)の一人当たりの医療費は、全国や千葉県と比較して、低い費用になっています。(表1)

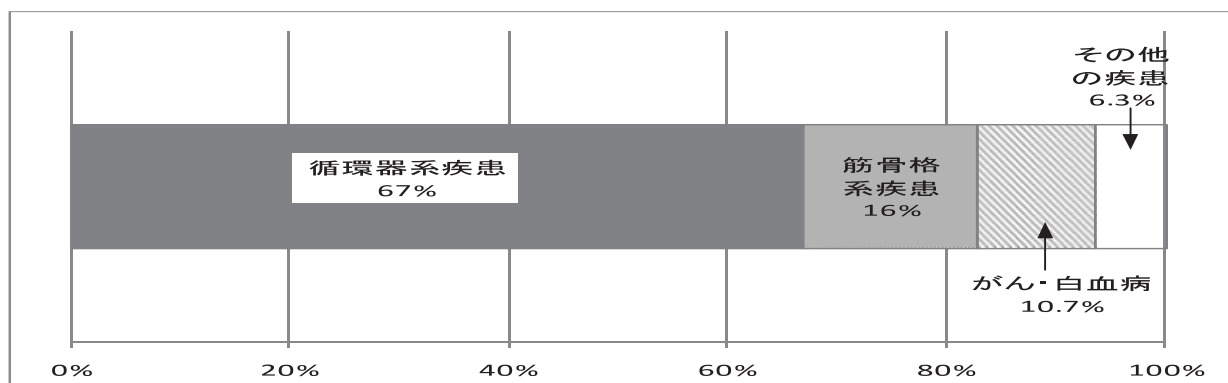
#### 5. 国民健康保険

富津市の国民健康保険加入者は、被保険者数が減少傾向にあり、平成22年度の加入率は36.8%です。加入者のうち、前期高齢者(65歳~74歳)が約3割を占めており、今後も高齢化が進むと、更にその傾向が強まると予測されます。一般的に高齢者になるほど、受療率は高くなり、医療費も増大するため、生活習慣病の発症予防と重症化予防に努める必要があります。

富津市の国民健康保険加入者の一人当たりの医療費において、全国、千葉県より高く、千葉県内でも上位に位置しています。(表1)

生活習慣病に関する疾患の治療者の割合は、現在、全国や千葉県との比較は困難ですが、君津管内で比較すると、人工透析(以下「透析」という。)、心血管疾患、脳血管疾患が多い状況です。また、200万円/月を超える高額な医療費でも心疾患、脳血管疾患等の循環器疾患で67%を占めています。生活習慣病の重症化した状態が医療費の増大につながっています。(図5)

図5 200万円以上の高額な医療費の内訳



資料 診療報酬明細書(平成23年4月~平成24年3月審査分)



透析患者数の推移をみてみると、全国、千葉県同様増加しています。人口100万対でも多い状況です。(表6)透析にかかる医療費は年間約530万円/人、富津市国民健康保険加入者の透析者は75人(平成24年8月31日時点)であり、合計約4億円/年と高額を占めています。特に、糖尿病腎症からの透析導入者が増加していることから、生活習慣病予防により新たに透析を受ける人(以下「新規透析導入者」という。)を減少させる活動を重点に実施する必要があります。(図6)

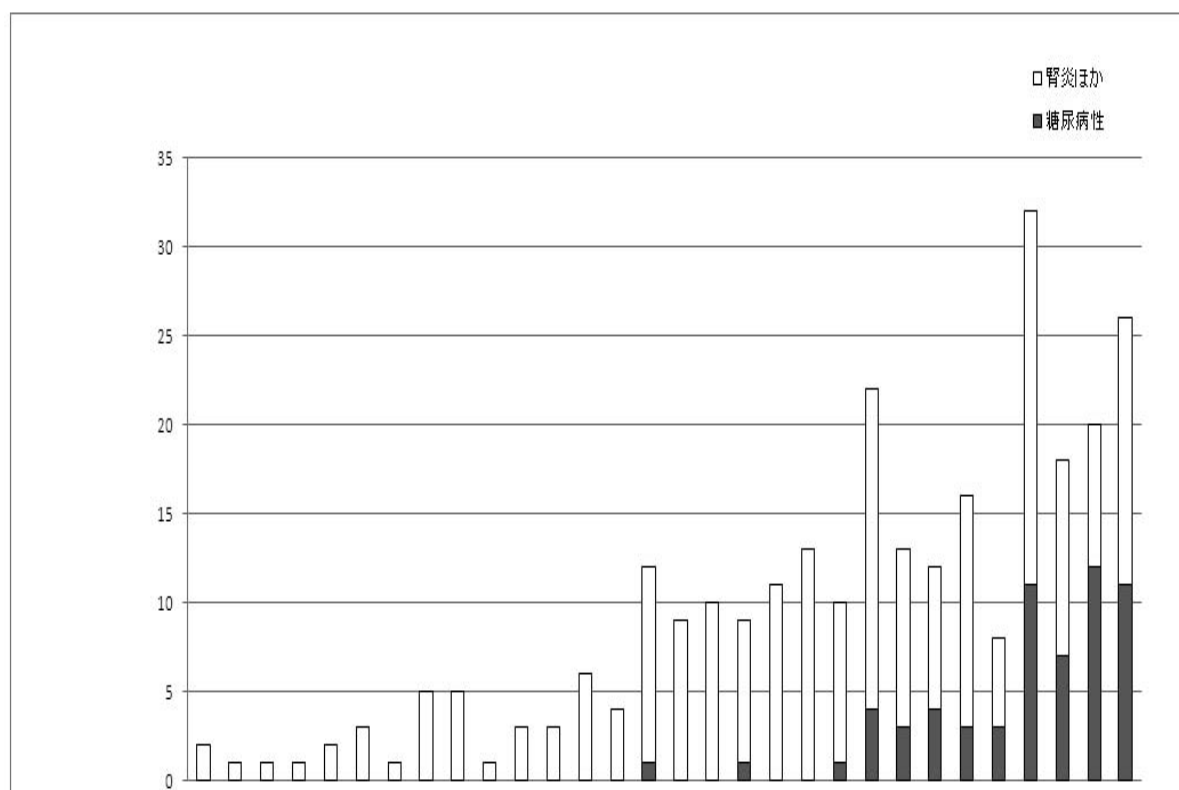
表6 透析患者数の推移

(単位:人)

平成17年			平成22年	
都道府県	患者数	人口100万対	患者数	人口100万対
全 国	257,765	2,017	297,126	2,320
千 葉 県	10,842	1,790	12,763	2,053
富 津 市	120	2,392	172	3,578

わが国の慢性透析療法の現状 (社)日本透析医学会 統計調査委員会

図6 国民健康保険における新規透析実施者の推移 (平成22年12月31日時点)



年度	S51	S52	S53	S57	S58	S59	S60	S62	S63	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22		
原因疾患																																
腎炎ほか	2	1	1	1	2	3	1	5	5	1	3	3	6	4	11	9	10	8	11	13	9	18	10	8	13	5	21	11	8	15		
糖尿病性															1			1			1	4	3	4	3	3	11	7	13	10		
合計	2	1	1	1	2	3	1	5	5	1	3	3	6	4	12	9	10	9	11	13	10	22	13	12	16	8	32	18	21	25		

## 6. 健康診査等

生活習慣病の発症予防、重症化予防の最も重要な取組である、医療保険者による特定健康診査・特定保健指導は、平成 22 年度受診率 39.5%、保健指導実施率は 57.8%で、全国、千葉県より高くなっています。(表 1) 特定健康診査(以下「特定健診」という。)の結果については、メタボリックシンドローム該当者、高中性脂肪、低HDLコレステロール、糖尿病の正常高値の割合は県内の上位に位置します。(表 7) また、医療保険各法で努力義務となっている 18 歳から 39 歳までの市民には、若年健康診査の機会を提供しています。若いうちから健康診査を受けることを意識づけていく活動が重要です。また、健康診査事後の保健指導を実施することにより慢性腎臓病 (CKD) 等、生活習慣病の発症予防、重症化予防につなげていきます。



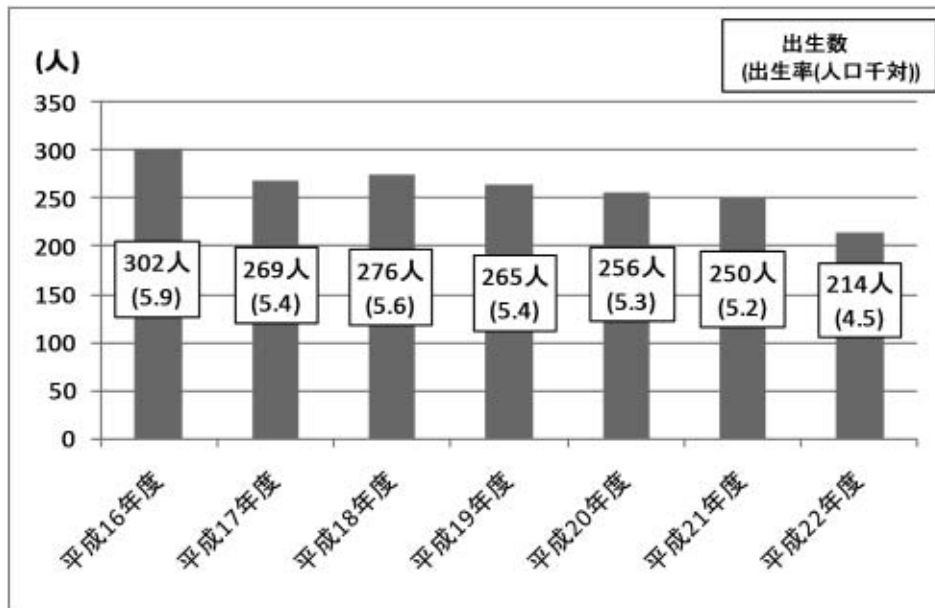


## 7. 出生

富津市の出生数は減少傾向にあります。(図7)

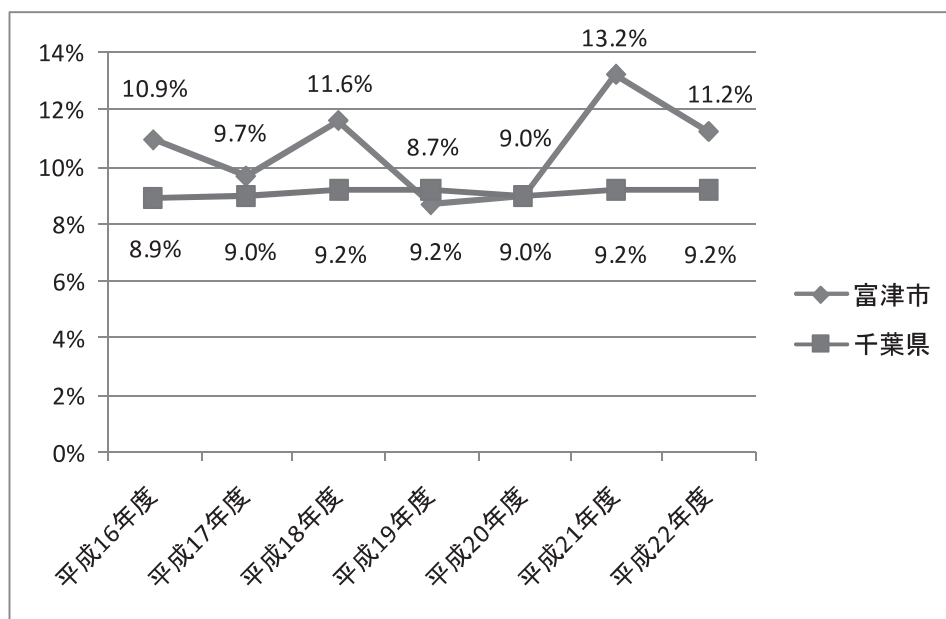
近年、出生時体重が2,500g未満の低出生体重児については、神経学的・身体的合併症の他、成人後に糖尿病や高血圧等の生活習慣病を発症しやすいとされています。平成22年度の富津市の低出生体重児の出生率は11.2%、千葉県は9.2%であり、比較すると高い状況です。(図8) 低出生体重児予防と子どもをより健康に育てていくためにも、母親の妊娠前・妊娠期の心身の健康づくりが大切になってきます。

図7 出生数の推移



資料 君津健康福祉センター事業年報

図8 出生時体重2,500g未満の出生割合の推移



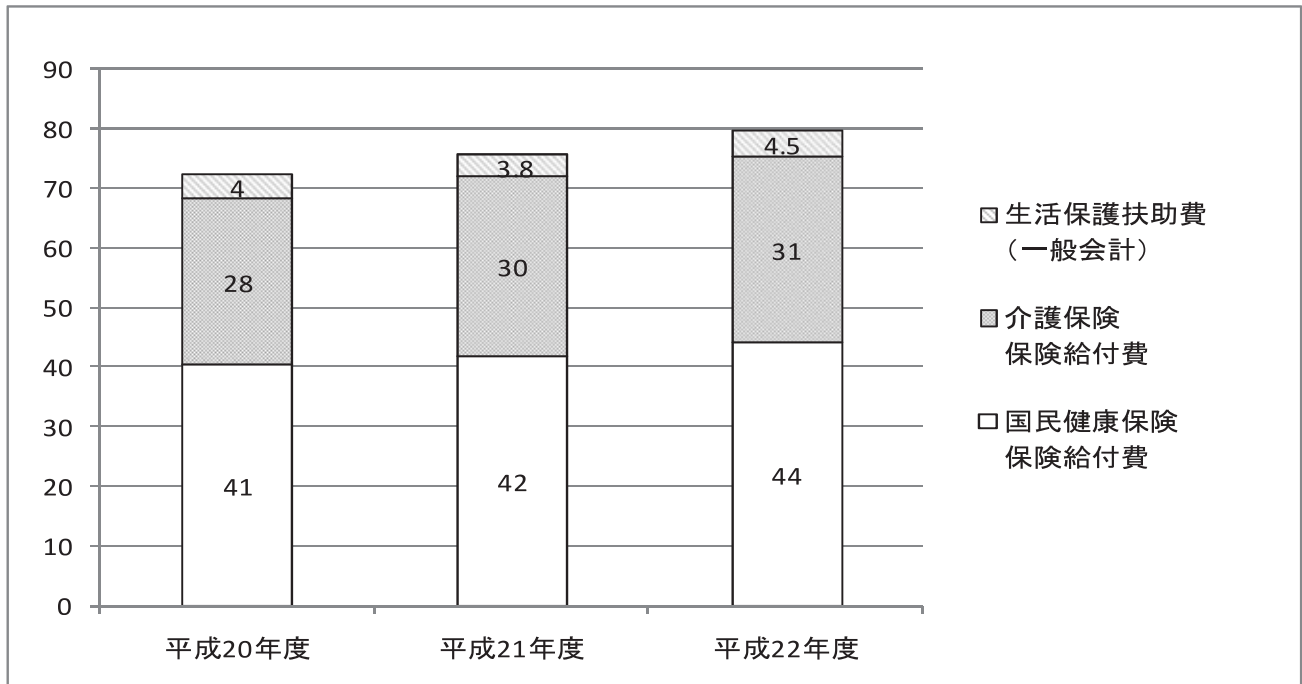
資料 君津健康福祉センター事業年報

## 第2節 市の社会保障費の推移

特別会計における国民健康保険の保険給付費、介護保険の保険給付費と一般会計の生活保護扶助費を社会保障費としてみると、年々増加してきています。(図9)

今後更に高齢化が進展する中で、いかに富津市の社会保障費の伸びを適正化するかが、大きな課題となってきます。

図9 社会保障費の推移



資料 富津市歳入歳出決算書